



未来に向かう学び

副校長 保土澤 尚教

令和2年度は、小学校で新しい学習指導要領が全面実施の年です。既に、英語や道徳が教科になることや、プログラミング教育が導入されることなど、ご存知の方も多いと思います。世の中は人口知能（AI）やビッグデータの活用など、社会構造の大きな変化の中にあり、私たちの身の回りでも、予想をはるかに上回る速度でキャッシュレス化が進み、セルフレジが導入されたりしています。新しい学習指導要領も、何を、どのように学び、何ができるようになるか、予測困難で複雑な今後10年を見通して作成されました。

こうした新しい時代に求められる力を育むために、学校での学びも大きな転換点にあります。主体的・対話的で深い学びの実現と言われますが、子供が学びの見通しをもち、自ら方法を選択し、関わりを生かして問題を解決することで、新たな問いを見つけるような学習を発達段階に応じて進めていく必要があります。そして、子供が学ぶ基盤となる言語能力と情報活用能力を着実に育てていくことも大切なポイントです。その上で、「実際の生活や社会で生きて働く知識及び技能」、「未知の状況に対応できる思考力、判断力、表現力」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性」の三つの観点で、各教科の学習を評価していきます。

学校としての悩みは、授業時数の減少、話し合い活動の制限、学習用具や場の使用制限と多岐に渡りますが、どのような学びを設定すれば子供たちが生き生きと学べるのか、教職員が知恵を絞って授業に臨んでいます。ある学級では、タブレット端末を活用して発表者を教室前面に映し出したり、またある学級ではノートに自分の考えをまとめてお互いに確認し合う交流活動を設定したりと、学校ならではの「関わりを生かして学ぶ」工夫に挑戦中です。「こんな環境を整えば、こんなチャレンジができそうだ。」という今後の展望も見据えながら、今できることから段階的に取り組んでいきます。そして、これまでと同様に一人一人を丁寧に見取りながら、より一層、日常の学校生活の様子を発信し（学校ホームページの随時更新、各種便りの充実）、キャリア教育（幼保小連携、小中一貫教育、キャリアパスポートの活用）や特別支援教育（個に応じた切れ目のない支援、サポートルームや教育相談室との連携）を充実させながら、グローバルな視野（外国語教育、オリンピック・パラリンピック教育）を育てていきます。

一方、感染症対策として新しい生活様式を取り入れることも大きな変化の一つです。大人も子供も不安を感じたり、一人一人の考えや思いの違いから不満に思ったりすることも想定されます。誰でも一律に同じことは分かりやすいですが、全てがそういう訳には行きません。例えば、感染症予防のためマスク着用が必須でも、肌の敏感さがある人等にとっては代替の方法を考える必要があるように、個々の異なる状況を加味すれば対応方法が異なる方が合理的です。その際、大切なのは「お互いの違いの理解」、「寛容」、「ゆるやかさ」なのだと思います。誰しも経験したことのない状況だからこそ、個々の違いへの理解と、新たな状況下での対応に寛容さをもち、ゆるやかにつながることを大切に、子供たちを見守っていきたいと思います。

「全員が同じ時間に、同じ場所・方法で、同じペースで学ぶ」ことから、新しい状況に応じた学びへ段階的に進化していくために、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携し、未来の学びのイメージを共有して、子供の学びと育ちを共に支えていきたいと思います。

子供の反応を受け止め心のケアを

生活指導部

長かった臨時休業期間が明け、子供たちも少しずつ学校生活に慣れ、元気に過ごす様子が見られます。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策という大きな環境の変化に直面し、予断を許さない状況が続いています。今後、さらに長期化することで、心身の疲労が積み重なり、憂鬱な気持ちになったり、イライラしたりして、誰でも心の健康の維持が難しくなることが予想されます。

学校では子供の心の状態を確認するため、1～3年生は学校作成アンケート、4～6年生は大田区から配布されたマークシート方式の調査を実施しました。

今後は、実施したアンケートの分析・集計作業を行い、5年生でのスクールカウンセラーによる全員個別面接を行う等、一人一人とのコミュニケーションをより図っていきます。また3～4年生は、7月に学級集団調査（ハイパーQU）を実施し、子供たちの意欲や帰属意識を分析して、よりよい集団づくりを進めていきます。

子供の心は成長と共に大きく揺れ動くことがあり、気持ちが不安定になったり、考えていることが分かりにくくなったりすることがあります。必要に応じてスクールカウンセラーによるカウンセリングもできますので、家庭と学校で連携しながら、一人一人に応じたケアをしていきたいと思ひます。

新たな松仙小学校の職員を紹介します

○スクールサポートスタッフ（教員支援員）

教員が行っている校内の事務的な業務（印刷、配布、掲示、集計等）をサポートしていただきます。

○体育指導補助員

主に、1～2年生の体育の授業で見本を見せたり、用具の準備や片付け等が業務となります。

保護者の皆様へ 来校時のお願い

引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みを行ってまいりますので、来校の際は下記の点にご留意ください。よろしくお願ひします。

- ・ マスクの着用 ・ 手洗い又は手指の消毒の徹底
- ・ ソーシャルディスタンスの確保（1m以上）
- ・ 発熱時、咳、くしゃみ等の風邪症状がある場合には来校をお控えください。

7月～8月上旬の行事予定

日	曜	行事等	放
1	水	特別時程 発育測定 6	×
2	木	発育測定 5	×
3	金	発育測定 4	×
4	土		
5	日		
6	月	放送昼会 発育測定 3	×
7	火	発育測定 2	×
8	水	特別時程 発育測定 1	×
9	木	視力検査 6	×
10	金	安全指導 視力検査 5	×
11	土	土曜 3 時間授業	×
12	日		
13	月	放送昼会 避難訓練(地震) 視力検査 4	×
14	火	心臓検診 1 他 委員会①	×
15	水	特別時程 視力検査 3	×
16	木	学習効果測定 456 視力検査 2	×
17	金	視力検査 1 学級集団調査 34	×
18	土		
19	日		
20	月	放送昼会 保護者会 456 避難訓練予備日	×
21	火	保護者会 123	×
22	水	特別時程	×
23	木	海の日	
24	金	スポーツの日	
25	土		
26	日		
27	月	放送昼会	×
28	火	聴力検査 5	×
29	水	特別時程 聴力検査 3	×
30	木	聴力検査 2	×
31	金	聴力検査 1	×
1	土		
2	日		
3	月	放送昼会	×
4	火		×
5	水	特別時程	×
6	木	給食終 大掃除	×
7	金	終業式	×
8	土	夏季休業日始	
9	日		

※○印の日が放課後遊びあり

【見方】

- 半角数字は学年（例：遠足 4 = 4年生の遠足）
- hは実施の時間（例：1h = 1時間目）
- ○数字は回数（例：クラブ① = クラブ 1回目）